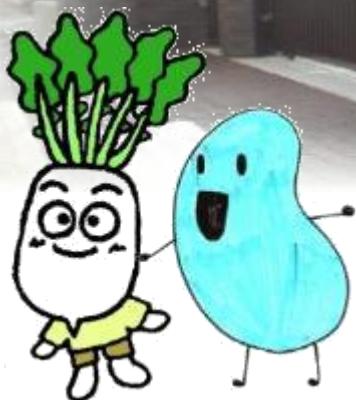


学校と家庭を結ぶ学校くらしの情報誌

ながいけ
の愛称です

NAKKE NAVIGATION

長池小のどこに
何がありどうする
のかを簡潔にまとめ
た案内役 といった
意味を込めて



大阪市立長池小学校
大阪市立長池小学校P.T.A



CHALLENGE

目次（もくじ）

はじめに

学校長あいさつ	2
この本の見方・使い方	3
長池小の由来は？（長池小学校あれこれ）	4

基本編

1. 教育方針	
◇大阪の教育って？	7
◇長池の教育はこれだ！	8
2. 教育内容	
◇教科の学習には何があるの？	10
◇健康についての学習はやっているの？	13
◇人間としての尊厳を学ぶ	14
3. 特色ある教育	
◇長池小白慢の「田辺大根」って？（キャリア教育）	16
◇日本語教室のことが知りたい	18
◇基礎基本を身につけるって？（漢字道場、チャレンジタイムなど）	19
◇本を読む子になってほしいのですが（学校図書館教育）	20
◇子どもの手でよりよい学校を一特別活動	22
◇その子らしさを大切に（特別支援教育）	23

※その他のキーワード検索

ア	運営に関する計画（P 9）
	栄養指導・保健指導（P 13）
カ	漢字道場・チャレンジタイム（P 19）
サ	習熟度別学習（P 20）
タ	
ハ	PISA の学力観（P 11）
	ふれあい活動（たてわり班）（P 17）

【コラム】のコーナー

学力の樹・学力とは？	P 12	子どもの自尊感情と環境	P 15
こんな様子ありませんか？	P 23		

はじめに

学校長あいさつ

ごあいさつ

大阪市立長池小学校へようこそ。長池小学校は、昭和4年に開校した歴史と伝統のある小学校で、いつも子どもたちの笑顔であふれています。新しく仲間入りをされたみなさん。早く長池小学校に慣れていっしょに楽しく元気に過ごしましょう。

この「ナッケナビゲーション」は、そのためにみなさんのお役に立つよう作成されたものです。長池小学校で生活するための基本的な情報をわかりやすく説明しています。わからないこと困ったことがあったらページを開いて答えを探してみてください。きっとすぐに見つかると思います。

それでも判断しにくいくことや、不安なことがありましたら遠慮なく学校へ連絡・相談してください。みなさんが長池小学校で伸び伸びと過ごせるように力を尽くしたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

大阪市立長池小学校 校長 河野 孝宏

はじめに②

こんなふうに使おう！

この本の見方・使い方

この本のページの見方や、本の使い方、特徴などの説明が書いています。

そのページの大見出します。

そのページを表すフレーズです。

このような小見出し ⇒
が入っているページがたくさんあります。


そのページの中見出します。

写真や図、絵を使ってできるだけわかりやすくするよう工夫しています。

この冊子が、単なるガイドブックで終わるのではなく、子育てにも役立つ本となるよう、「コラム」がところどころに入っています。

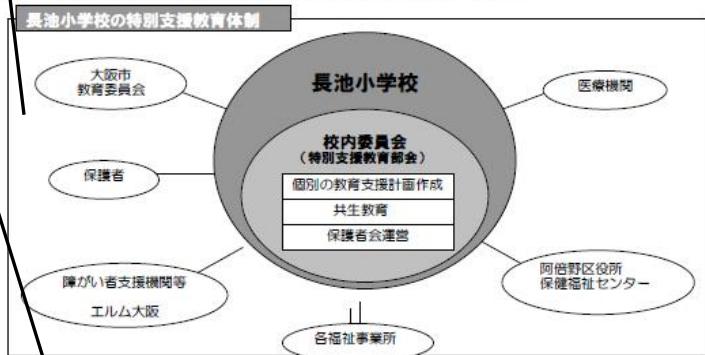
基本編 特色ある教育⑥ その子らしさを大切に

長池小学校として進めていける特徴的な教育内容の説明が書いています。

平成19年に、特別支援教育がスタートしました。これは、さまざまな障がいのある子どもたちがいる中で、その障がいの状況や個々のニーズが非常に多様化してきたことにより、個別のニーズに応じた支援ができるようにと、国（文部科学省）が方針を出し、始まったものです。

長池小学校では、障がいのある子どもの発達保護と、通常学級での学習と個別への支援とのバランスを取りながら、周りの子どもたちの障がい者理解と集団育成、共に生きていくうとする態度の育成など、これまでも継続して取り組んできました。本来「長池小学校の特色ある教育」ということではなく、どこでもあたりまえに行われるべき教育なわけです。

本校では、下図のように関係機関との連携をしながら特別支援教育の体制づくりに努め、子どもたち一人ひとりにとって必要な支援を検討し、日々実践しています。



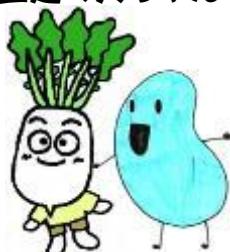
コラム こんな様子、ありませんか？

- 本読みで、文字や行をよくとばして読んでいる。
- 小さな音もすごく気になり、大切なことを聞き出す。
- たくさんの方たちの中ではなかなか話が聞けない。
- 衣服のタグを全部切ったり、準備わりを気にする。
- じっとしていることが少なく、あちこちに動き回る。
- 会話をそっけなくせず、まったく関係のない話題にとぶことが多い。

このページの本文です。

その内容に関連する項目があるページへ、すぐさま飛べるよう、リンク(関連)先が表示されています。

※ナッケちゃんと田辺の大ちゃん



ところどころに出てくるこのキャラクター。右が「ナッケちゃん」、左が「田辺の大ちゃん」です。右は本校卒業生が考案・デザインした「長池」をモチーフにしたキャラクターです。男の子です。田辺の大ちゃんは、イラストレーター辻本隆文さんの作品で、なにわの伝統野菜、田辺大根の象徴的なキャラクターとして、キーホルダーなども作られ、広く使用されています。

はじめに③

NAKKE NAVIGATION

長池小の由来は？

長池小学校あれこれ

長池小学校の基本情報・歴史的なことが書かれています。



長池小学校は、1929年、昭和4年に長池尋常小学校として開校しました。近隣に北田辺小学校、南田辺小学校、田辺小学校と、いわゆる「田辺村」の地名にちなんだ名前がつけられている小学校が多い中、長池小学校は「西田辺小学校」ではなく「長池」なのです。

というのも、現在、長池公園に「長池」という池がありますが、その周りの長池公園も、そこから南西側へと続く「長池グランド」も、そして現在の長池小学校の敷地もすべて「長池」という池だったそうです。創立70周年記念誌に「…遠い記憶をたどりながら当時のことを思い出すと、学校周辺には公園や池がたくさんあり、釣りや昆虫採集の出来る絶好の遊び場でした。…」という手記が寄せられております。「長池」に校舎が映っている当時の写真もあります。

自然豊かな長池小学校の伝統は、ここからきているのですね。



現長池グランドの池に映る校舎



校章は、ご存知の通り松の葉をモチーフに、葉を5本組み合わせて星をかたどった形となっています。



校歌の3番に「清らかな 松のふちどる 校章の」とあります。ということは、校章が先にできて、校歌がその後にできたと考えられます。

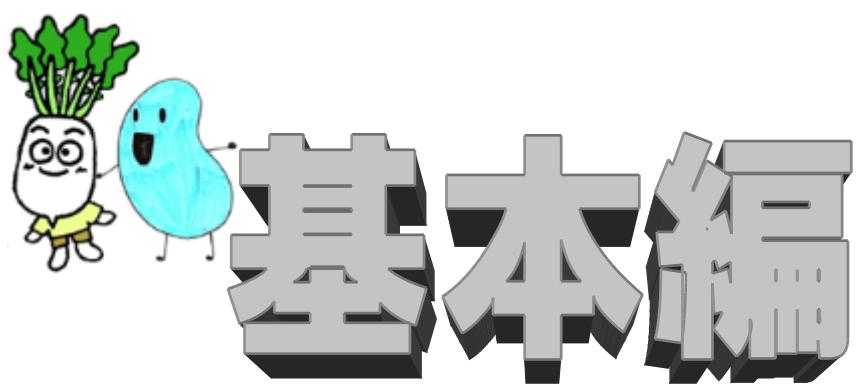


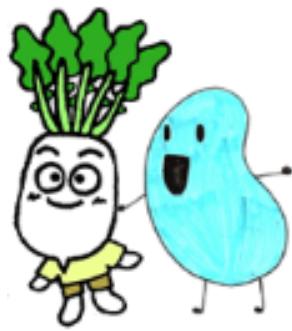
この、校章のできあがったいきさつも、校歌の作詞・作曲の経緯についても、過去の様々な文献や創立周年記念誌、地域にお住まいの方々にお聞きしても、今のところ謎となっています。

上の写真↑は、昭和22年卒業の方が、参考にと持ってきてくださった、当時の文集と襟章です。どなたか校章や校

歌についてご存知の方がおられましたら、長池小学校までご一報いただけたら幸いです。







教育方針①

大阪の教育って？

大阪市教育振興基本計画

この本のページの見方や、本の使い方、特徴などの説明が書いています。



「大阪市教育改革プログラム」重点行動プラン 2008-2011 から
「大阪市教育振興基本計画」
～“ええとこ”のはそ 大阪の教育～
そして、改訂版大阪市教育振興基本計画へ

大阪市は、平成 16 年に大阪市教育改革プログラムを出し、その重点行動プラン、さらに大阪市教育振興基本計画として発展をさせ、大阪市全体の教育方針、教育改革の具体的な方向を示してきました。基本計画の改訂版では、「グローバル改革」「カリキュラム改革」「ガバナンス改革」「マネジメント改革」「学校サポート改革」という 5 つの改革を提示し、学校の活性化や学力向上、保護者・地域との連携を進めるべく、これらにもとづいた学校の運営計画を作成していくこうと、全市の学校で進めています。

詳しくは、大阪市のホームページをご覧ください。<http://www.city.osaka.lg.jp/>

【大阪市教育振興基本計画の概要】

大阪市教育振興基本計画の概要

第1編 大阪市の教育改革

【第1章 計画の位置付け】(P1~5)

計画の期間を平成 26~27 年度の 3 年間にすることなどを定めています。

【第2章 教育改革の推進】(P6~21)

基本的な目標

この計画では、教育行政基本条例の前文に基づき、「めざすべき目標」と、その達成に向けて教育にたずさわるすべての人々が共有すべき「基本となる考え方」を次のうように掲げます。

めざすべき目標

全ての子どもたちが学力を身につけながら確かに成長し、自立した個人として自己を確立し、他者とともに次代の社会を担うようになります。

そのため、社会が多様化し、素早く変化する中で、国際化の進展や災害への対応などを踏まえ、子どもが心豊かに力強く生き抜く力を育てるようになります。

基本となる考え方

一人一人の子どもを、個人としての尊厳を尊重し、その意見を尊重するとともに、自由と規範意識、権利と義務を常に、自分の行動に責任で選択切り拓き、真摯に活動を実行、公私の精神を重視し、豊か大人格と創造性を醸す、グローバル化が進む国際社会において力強く生き抜くことができる人間としてはぐくむこと。

子どもたちが、我が國と世界の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた国と、自らが育ったこの大陸を愛し、大阪にふるわしい新しい文化的創造をめざすようになること

教育行政においては、上記の看板が行われるよう、学校教育の改革による実践的な実施のための支援、教員の能力・教員等の向上を図るために研究、家庭の教育力の向上の支援、青少年・成人に対する教育活動の実施に関する施策の強化を努めること

改革の方針性

この計画は、教育行政基本条例と学校活性化条例の趣旨に則り、大阪市の教育改革を計画的に推進するためのものです。改革を通じて基本的な目標を達成できるよう、改革の方向性を次の 5 点に整理し、その方向性に沿って、新たな施策や制度の確立に向けて取り組んでいます。

また、教育委員会は、本市の教育行政や学校運営、その両者の連携のあり方について、組織体制、職員の業務・人事含め、現行制度の下で障壁を识别し、その改革・改善を図っていきます。

カリキュラム改革

3つの目標（ええとこのばそ、たすけあおう、おひきあおう）を見渡し、いかに社会が変化しようと必要とされる学力、価値心・社会性、健康・体力をはぐくみます。

効率的かつ柔軟な教育改革を目指し、基本的な道筋を、課題意識を掲げます。

新たなる教育育力カリキュラムを構成・実施します

ICT を活用して協働学習や個別学習などの充実をめざす「大阪市スタンダードモデル」を策定します

カリキュラムのノイバーションにつながる研究を進めます

通学費改革：学びの評価を客観的なものにします

健常な食生活の実現に向けて食育を進めます

グローバル化改革

国際共通課である英語を使えることをめざす教育の充実や、県界越えの ICT 学習環境の活用により、グローバル人材としての基礎を育てます。

「通話ノイバーション」：小学校 1 年生から大阪独自の英語教育に取り組みます

ICT を活用して協働学習や個別学習などの充実をめざす「大阪市スタンダードモデル」を策定します

コネクションを強調

授業뿐만 아니라具体的な学校運営を行い、子どもや保護者の意向に応え、学校や地域の実情に応じた特徴ある教育実践を実現し、学校運営の活性化を図ります。

・教員がリーダーシップを發揮して適切な学びづくりを進めます

・児童を中心とした学校の運営マネジメント体制の改革を進めます

・教員人事制度等を整備します

・教員が笑いに切磋琢磨し、優れた教育実践を創出する仕組みをつくります

ガバナンスを強調

保護者・地域が貢献をはぐくむとともに、市民の参加を得られるよう、情報の積極的な提供、学校協議会の設置など開かれた学校運営を行います。

・保護者・地域住民に開かれた学校をつくります

・民間や広報行政との適切な役割分担を進めます

運動サポートを強調

専門家の支援や薬膳の効率化などにより、教員がその持てる能力を教育実践で十分に発揮できるよう支援します。

・はじめ、問題行動に懸念した対応をとるための制度をつくります

・体制・風土行為を実現しない教員づくり、運動部活動の適切な指導方法の確立を図ります

・学校運営における規律と柔軟性を支援します

・学校教育以外でも多様な学習機会を利用できるよう支援します

【第3章 計画の推進】(P22~23)

この計画に基づき施策を総合的に推進するために、社会がかりで教育活動に取り組むことを掲げています。また、施策を実現するために、各年度における目標や具体的な取組を定め、その達成状況を定期評議し、施策を改善していくことを定めています。

第2編 今後 3 年間で取り組む施策

(P24~41)

今後進めていく施策の全貌について、子ども、学校運営、市民のそれぞれに対する 3 つの分野に分け、施策ごとに平成 27 年度までの目標を設定し、代表的な施策の概要と計画を掲載しています。

1. 子どもの自立に必要な力の育成 (カリキュラム改革、グローバル化取組等)

就学から義務教育までの教育を充実させることにより、一人ひとりの子どもにとって将来の自立に必要な力を育てるとともに、国際社会で力強く生き抜くことができる人材となる基礎をはぐくみます。

1 学年の向上

2 感情心・社会性の育成

3 健康・体力の保育推進

4 家庭教育の充実

2. 学校教育の質の向上 (マネジメントの強化)

教員がリーダーシップを發揮し、教員が切磋琢磨することにより、優れた教育実践を創造するための仕組みづくりを進めます。併せて、教員がその持てる能力を教育実践で十分に発揮できるようにするための環境を整備します。

1 中学の活性化

2 教員の養成・能力の向上

3. 教員が担当する仕事からづくりと生涯学習の実現 (オンライン会議、学校サポート会議等)

学校運営の運営に伴う会議に、保護者が積極的に参加することで、学校運営を進めるとともに、学校における教員所長のサポートが一層充実するよう取り組みます。また、市民が地域社会の「手」をして協働していくよう、市民の生活にわたる学習を支援し、その成果が地域に対する行動に生かすことができるようになります。

1 中学・家庭・地域の連携の推進

2 生涯学習の推進

教育方針②

長池の教育はこれだ！

長池小学校教育方針

長池小学校の教育について、その大きな目標や方針が書かれています。



学校教育目標

長池小学校では、一人ひとりの個性を大切にしながら、それを発揮して相互にかかわりあい、その協働のなか、最後までねばり強く取り組む子どもの育成をめざし、学校・家庭・地域の三者一体となった教育を進めます。

ねばり強い子どもを育てる



めざす学校像

児童にとって
自分の力を発揮できる
楽しい学校

めざす
学校像

教職員にとって
教育する喜びを感じる学校

保護者・地域にとって
訪問することが楽しい学校

学校経営の重点

個性が輝く学校



自ら学ぼうとする
姿勢

1. 進んで学習に取り組む
- 漢字道場・チャレンジタイム
→基礎学力の定着・向上
 - 習熟度別少人数指導・研究活動
→個に応じた指導・わかる授業
 - 体験的な学習・協働学習
→1年生からの英語
→コミュニケーション力の育成



自他尊重の態度

2. 望ましい人間関係づくり
- 異学年交流「ふれあい活動」
思いやりの心・集団づくり
道徳教育との関連づけ
 - 人権教育の充実
「ちがい」を認め合い、自他の良さに気づき、協働する



健康と体力を磨く

3. 健全な生活習慣を養う
- 手洗い・うがいの徹底など、基本的生活習慣の定着
 - 計画的な栄養指導と、給食指導の工夫
 - ナガリンピック・運動カーニバル
→運動の日常化、基礎体力向上



学校教育目標や学校経営の重点にもとづき、長池小学校では、その達成に向けた具体的な取り組みを重点目標として設定しています。

自ら学び、自ら考え、ねばり強く問題を解決しようとする子どもを育てる。

互いのよさを認め、互いに高めあう子どもを育てる。

自らの健康や体力に関心をもち、たくましく生きる子どもを育てる。

子どもの意欲・自信を引出す

気持ちの揃った教職員集団

子どもの優しさを伸ばす

保護者・地域との信頼関係

一人ひとりに確かな学力を

子どものがんばりを認める

運営に関する計画

大阪市の教育振興基本計画に則り
各学校において「運営に関する計画」
を策定しています。長池小学校にお
いても、これを作成、ホームページ
にて公開しています。

この「運営に関する計画」は、「中期目標（数年で実現をめざす目標）」とその目標達成に向けた「年度目標」を設定し、その目標達成のための指標、さらにその指標のための具体的な取り組み内容も設定します。

そして、10月に中間評価、1月に年度末評価を行います。これは、学校の教職員全体で行う内部評価です。つまり、自分たちで目標を立て、取り組み内容を決め、自分

大阪市立長池小学校 年度26年度 運営に関する計画・自己評価【評議会シート】	
年度目標・	達成状況・
【目標 学力の向上】 ○学年別学力標準目標達成率。算術において、いずれの学年も正答率70%をも超える割合が達成。かつ2学年成績別正答率50%を、2学年の平均が正答率40%を超過できるようになります。 （ありきゅうふ成績標準） ○定期アンケートで「学習を進して、且手な学び方を身につけられるようになった」と感じる「今までのことを振り返し、調べたり実験したりする力がついてきてる」と思う「家庭における育成目標達成率を10%以上にする。」	B+
年度目標の達成に向けて実施内容、実施の進捗状況を記する欄等。	達成・ 状況・
実施内容①【運営アンケート入念実施の実施】 レディオテストや定期アンケートとともにリラス調査を行い、運営の実態に即した改善が各部署で実施される。 （評議） レディオテストや定期アンケートとともに、クラス調査を行う。 実施内容②【自ら実習目標の確立】 定期の運営会議や運営会議連絡タイム会議に参加する。 （評議） チラシ等による精神や価値観を伝えるプリント内容の実施が毎回工夫される。 実施内容③【実験力や創造的思考力の育成】 自分の考え方や実験をもとに調べたり実験したりする活動を通じてコミュニケーション能力を磨く。 （評議） 定期活動の取り組みをすべての教師において実施する。 実施内容④【】 （評議）	B+
年度目標の達成状況や実施の進捗状況の採点と分析。	評議・ 状況・
① レディオテストが定期アンケートをもとにしたり、実施・実習内容を考慮したりしてリラス調査を行い、少人数・個別実習の実施を進めることができます。 ② 実施会議タイムで実施したプリントを整理し、スクリプト押すことで価値観を伝わせることができます。さらには、運営会議がかけたり、プリントの内容を両方実験したりして、実施実習や会議タイムの充実度を図ることができます。 ③ 自分の考え方を陳述したり、次だの考え方を開いたりすることの大切さをいろいろな事例で説くことにより、導入で実験しようとする意識がむずづかなくて済んでいます。 （評議）	評議・ 状況・
○ 実施実習・会議タイムの充実のための具備要件を考慮する。 ○ 様々な実験をしたり、A・Bの手順をしたり、発表会や展示会を開けたりする。 ○ 開示・開示もなれるため、キャラクターの由来を高めます。	評議・ 状況・

運営・組織づくりの手法です。そしてまた次年度、目標設定やその取り組みに生かしていくきます。

こうしたサイクルのことを「PDCAサイクル」と呼んでいます。

つまり、運営に関する計画は、「PDCAサイクルによる学校力向上と学校の活性化」をねらって行われているのです。

平成26年度

運営に関する計画

(中期目標・年度目標及び取り組み内容)

中間評価

平成26年8月

大阪市立長池小学校

ちで評価するという、いわゆる「自己評価」なわけです。それでは汎用性をもちえませんので、年度末には「学校協議会」をもち、地域・保護者の代表の方、有識者の方を協議委員として、これらの結果を公表した上で評価いただく「学校関係者評価」を行っています。そうして、最終評価を行い、ホームページなどで広く一般に公開するのです。

このように、運営に関する計画では、

「目標立て・具体的な取り組みの計画・立案」→「立案した取り組みの実行」
→「取り組み内容とその効果の検証、評価、修正」→「修正を加えた取り組み等の再実行」

といった、一連の流れで行われていく学校運



教育内容①

教科の学習には何があるの？

教科の学習

小学校における教科の学習について、その内容やねらいが書かれています。



まずは教科・領域の学習です。国語・社会・算数・理科・生活・音楽・図画工作・家庭・体育の9つを「教科」、総合的な学習の時間、道徳、特別活動（学級活動等）、外国語活動の4つを「領域」と呼んでいます。

学校の勉強の時間は決められています

右の表のように、これらの教科・領域の学習は、年間の時間数が決められています。

例えば、国語科の年間時数は2年生が最も多く、315時間ですが、5年生以上になると、175時間となります。1年生は学校生活に慣れることを考慮した時数配当となっています。

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
総授業時数	850	910	945	980	980	980
国語	306	315	245	245	175	175
社会			70	90	100	105
算数	136	175	175	175	175	175
理科			90	105	105	105
生活	102	105				
音楽	68	70	60	60	50	50
図画工作	68	70	60	60	50	50
家庭					60	55
体育	102	105	105	105	90	90
道徳	34	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間			70 (105)	70 (105)	70 (105)	70 (105)
特別活動	34	35	35	35	35	35
外国語活動			15	15	35	35

また、学年によってない教科・領域もあります。

1・2年生…理科・社会科・家庭科・総合的な学習の時間・外国語活動なし。
生活科あり。

3・4年生…家庭科・生活科・外国語活動なし。

5・6年生…生活科なし。

この他、4年生以上にクラブ活動、5年生以上に委員会活動があります。



これらは特別活動としての位置づけとなっています。この決められた教科・領域の年間時数を下回らないよう、年間の総日数から総時数を割り出し、学校行事との兼ね合いを考えながら、毎週チェックしています。



－PISAの学力観

PISA(Programme for International Student Assessment)とは、OECDが進めている、児童・生徒に対する、国際的な学習到達度調査で、読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーなどの調査が行われています。

教科の学習は、年間1000時間近くあるうちの、800時間ほどをしめる、学校の中では一番多い時間です。この時間を通じて、子どもたちがたくさんのこと学ぶことは、言うまでもありません。

めまぐるしく変化する国際化・情報社会の現代において、昨今、世界で求められている「学力」というものは、

「覚えているか覚えていないか」よりも、そのことを
「使いこなせるか、こなせないか」

と言われています。つまり、

これまでの学習の仕方で、多かったパターン



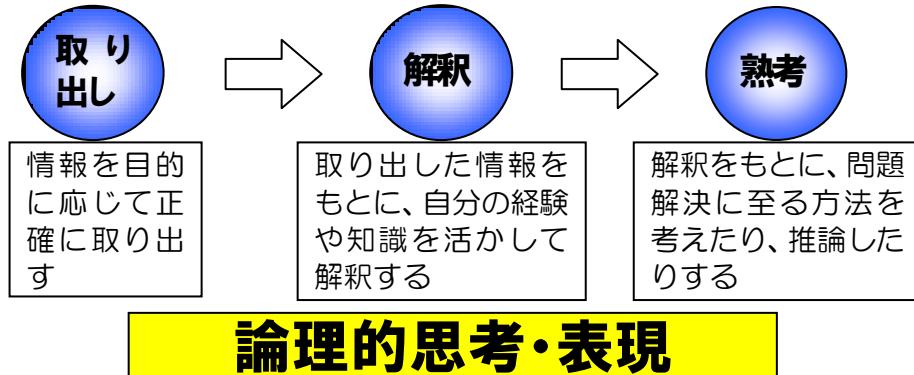
これから学習で大事なこと



つまり、

見たり聞いたりしてもいいから、それを使えるようになること

が大切なのです。そして、それを説明にまで至るようにするには、

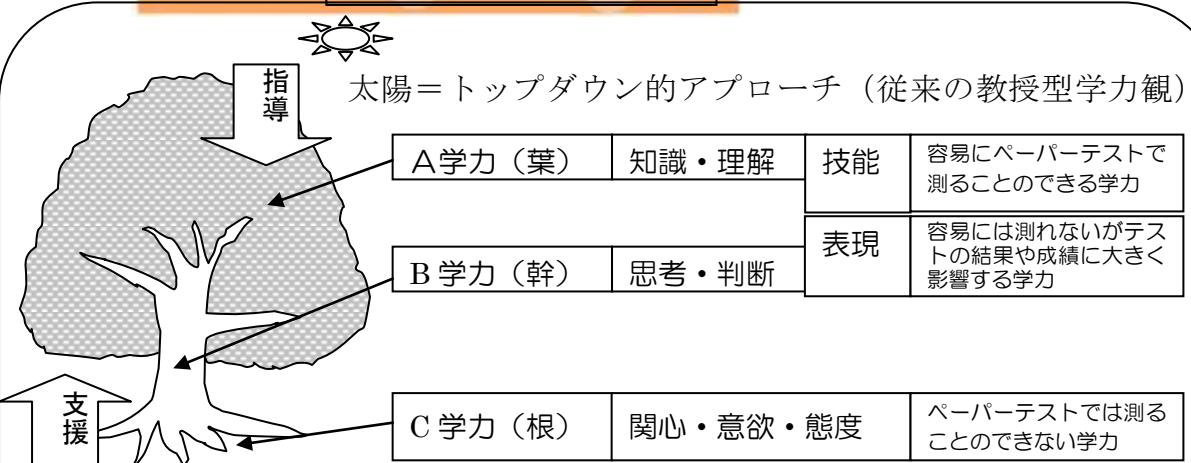


ということが、大事になってきます。

長池小学校では、算数科・国語科を中心に、すべての教科学習において、この「論理的思考・表現力」を高めることを目標とし、考えや意見を発表したり書いたりと、「話す・説明する」ということに重点をおいた授業展開を行っています。

コラム

学力の樹・学力とは？



【大阪大学人間科学部教授 志水光吉氏 著「学力を育てる」より】

学力には「狭い意味での学力」「広い意味での学力」、「ペーパーテストの学力」「生きる力」などなど、それはさまざまな言い方がされており、一口に「学力」と言っても、何をさすのか一概には言えません。

阪大の志水宏吉教授は、上図のように、「学力の樹」として表しています。いわゆる、全国学力調査で測っている学力とは、上の図でいうA、Bの部分です。強いて言えば、Aがいわゆる「A問題（主として基礎）」、Bがいわゆる「B問題（主として活用）」です。で、忘れてはならないのが、「C」です。Cは生涯にわたって学習するという観点からすると最も重要です。

したがって、現在行われている調査は、学力の一部に過ぎません。その点数のみで、その子どもという人間が評価されているのではないということを、きちんと心に留めておくことが大切ですね。

教育内容②

健康についての学習はやっているの？

健康教育

教科としての学習でなく、横断的な、あるいはそれ以外の学習について書かれています。

「健康」はあらゆる事柄の中で、最も重要であると言えます。どんな学習も、どれだけ価値のある活動も、健康でなければ何もできません。長池小学校では、健康教育の重要性を考え、年間を通じて計画的に行っていきます。

長池小学校では特別活動、総合的な学習の時間を使って、栄養教諭による栄養指導を各学年において計画的に行っています。



学年	テーマ	主な内容
1	すき・きらいをしないで食べよう	食べ物はそのはたらきによって三つにわけられることを知る
	骨や歯をじょうぶにしよう	なぜ牛乳が給食に毎回あるのか？1日の牛乳の摂取量・カルシウムのはたらきを知る
2	よい手の洗い方	よい手の洗い方を理解し、食中毒予防につながることを知る
	食べ物をなかまにわけよう	食べ物を赤・黄・緑のグループにわける
3	おやつについて考えよう	おやつは砂糖・塩・油を多く含むものが多いことを知り、砂糖の摂取量・過剰摂取による体への影響・食べるときの注意点を理解する。
	三色栄養	パズルを作り、三色栄養の分類・はたらきを確認する。
4	もっと野菜を食べよう	野菜のはたらき・種類・摂取量を知り、1日 300g 摂取する方法を理解する
	三色栄養	パソコンを使って三色栄養の分類・はたらきを理解する
5	魚を食べよう	魚の旬・栄養を知り、肉と魚をバランスよく食べることを理解する
	朝ごはんについて考えよう	朝ご飯のはたらきを知ってメニューをつくり赤・黄・青のバランスをチェックする。
6	よくかんで食べよう	歴史上の人物の食事と現代の食事を比較し、咀嚼と体の関係を知る
	大豆について	昔の主たる蛋白源であった大豆・加工品を確認し、消費量・生産量から食料自給率等を考える。



また、養護教諭による保健指導も、発育測定や学級活動の時間を使って年間を通じて行っています。

1学期

2学期

3学期

- ・保健室の約束
- ・健康診断を正しく受けよう

- ・けがを防ごう
- ・応急手当の仕方

- ・かぜの予防
- ・手あらい、うがいについて

- ・6年間の成長の記録

教育内容③

人間としての尊厳を学ぶ

人権教育

人権教育について、大阪市、長池小学校での人権教育の目標や内容が書かれています。



大阪市では、人権が尊重される社会の実現をめざし、さまざまな人権に関わる課題をテーマに、市民や職員の人権意識の高揚を図るために効果的な啓発を推進しています。

国においては平成12(2000)年「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が制定され、平成14(2002)年、「人権教育・啓発に関する基本計画」として策定されました。

大阪市では、平成20(2008)年4月に「大阪市人権行政推進本部」を設置、平成21(2009)年2月に「大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～」を策定し、すべての市民の人権を尊重するため、市民から賛同と協力が得られる新しい人権行政を再構築し、市民が「人権が尊重されるまち」になったと実感できる「国際人権都市大阪」の実現に向けて、人権教育・啓発を「人権が尊重されるまち」へ導くための大きな原動力（人権行政のエンジン）として、人権相談・救済を人権侵害が起こったときの備え（人権行政のエアバッグ）と位置づけて、さまざまな取り組みを継続的かつ体系的に推進していくこととしています。



長池小学校では、この大阪市の人権行政推進計画に基づきながら、平成18年1月に国から出された「人権教育の指導方法のあり方について～第2次とりまとめ～」の「人権教

育を通じて育てたい資質・能力」で示されている側面・内容をふまえるべく、年間の指導計画を作成しています。

すなわち、「人権に関する知的理解」として、読み物教材や資料を活用した学習、人権課題となっている事柄についての学習を行い、「人権感覚」として、さまざまなアクティビティやワークショップを通して価値的態度的側面、コミュニケーションスキル、ピア・サポートの手法を取り入れるなどの技術的側面を養う学習を行っています。

また、本校は「帰国した子どもの日本語指導センター校」として位置づけられており、他校からたくさんの外国籍の子どもたちが本校の日本語教室に通級しています。その子どもたちとの交流を通して国際理解教育の充実



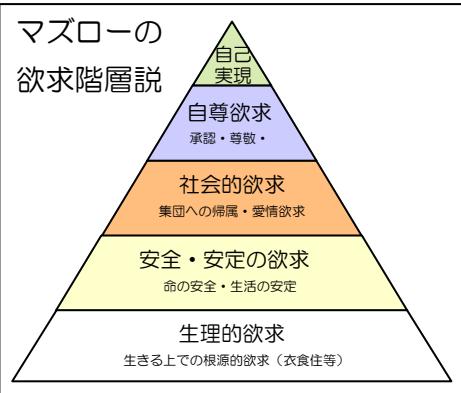
を図っている点も、本校の大きな特徴です。

長池小学校の人権教育の年間計画は、次のようにになっています。(長池小の標準例)

- ※(部) …部落問題学習 (在) …在日外国人教育 (障) …障がい児教育
- (平) …平和教育 (環) …環境・生命・福祉 (国) …国際理解 (集) …集団育成
- (男女) …男女共生 (子) …子どもの人権 (他) …その他

学年	1学期	2学期	3学期
1年	「どうしたん」(集) 「こんなこと したよ」(集) 「だんごむし」(環) 「ぶんぶんぶん」(国) ※「ひまわり」「日本語教室」 ってどんなところ?	「こんにちは」(国) 「わたしも よせて」(集)	「ひとりぼっちのライオン」(集)
2年	「とりあいじゃんけん」(集) 「おかあさんのしごと」(部)	「じらいではなく花をください」(平) 「ばんごはんのしたく」(男女)	「手やゆびではなそう」(障) 「もーおーうしです」(部)
3年	「もやもや書き」(集) 「わたし・ともだち・おかあ さん・おとうさん」(在)	「なあなあ お母さん」(障) 「ピカドン」(平) 「もーおーうしです」(部)	「公園」(障)(国)(他) 「みんなの町」(部)(在)(他)
4年	盲導犬(障) ユニバーサルデザインを知る う(障) 車いす体験Ⅰ(障)	「わかってくれるかな」(国) 「じゅん子のなかま」(男女) 「車いすのいろいろな動かし 方」(障) 車いす体験Ⅱ(障)	「お父さん 僕の足も 地雷に・・」 (平) 「もーおーうしです」(部) 車いすバスケット体験(障)
5年	「自然に、私のままで」(男女) 「人のつながる町」(部) 「わたしの町の いろんな國 の人」(国)	「わたしのせいじゃない」(集) 「みえないって どんなこと」 (障)	「心の中の宝物」(他) 「コリアタウンへようこそ」(在) 「もーおーうしです」(部)
6年	「あなたはわるくないよ」(子) 「ヒロシマには歳はないん よ」(平) 「もーおーうしです」(部)	「染一揆」(部) 「江戸時代の日本と朝鮮」また は「明日から本名で生きよう (旧: 読本「にんげん」)」(在)	「おじいちゃんの介護」(障) 「一票の権利」(男女) ※「世界がもし 100 人の村だった ら」(国) ※「世界の12才」(国)

コラム 子どもの自尊感情と環境



子どもの自尊感情(self-esteem)が大切だと言われて久しくなっていますが、同時に将来展望、いわゆる「夢」を描くことの重要性もよく語られます。夢を実現する=自己実現を図るということになると思いますが、アメリカの有名な心理学者、アブラハム・マズローは、左のような欲求階層説を唱えました。

マズローによると、人間の欲求には5段階あり、下位の欲求が満たされて、はじめて一つ上位の欲求、願望が生まれることのこと。このことからすると、子どもたちに自尊感情、ひいては「夢=自己実現」をもたらすには、その前の段階の欲求である「社会的欲求」が

満たされているという状況をもたらさないといけないということになります。さらにはその前の「安全・安定の欲求」「生理的欲求」しかり、です。衣食住などの毎日の基本的生活、あるいは安全が脅かされるような世の中では、子どもの自尊感情も将来展望も育たないということですね。我々大人がそういう環境をしっかりと築いていくことが大切です。

特色ある教育①

長池小自慢の「田辺大根」って？

田辺大根栽培を通してのキャリア教育

長池小学校として進めている特徴的な教育内容の説明が書いています。



20世紀後半におきた地球規模の情報技術革新に起因する社会経済・産業的環境の国際化、グローバリゼーションにより、そのころから「キャリア教育」が言われ始めました。

キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して「キャリア発達」を促す教育（中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成23年1月31日））と言われています。その「キャリア」とは「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」と定義されています。社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程を「キャリア発達」といいます。

こうした概念や

理念、ねらいをふまえ、小学校段階でのキャリア教育においては、求められる4つの領域における8つの能力と言われてきました。H23年にそれが見直され、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能

力、課題対応能力、キャリアプランニング能力という4つの能力に集約され、それらを「基礎的・汎用的能力」としてまとめられました。

長池小学校では、この基礎的・汎用的能力を培うための取り組みとして、その軸に「田辺大根づくり」があるのです。

子どもたちは、ふれあい班というたてわり活動を通して、「人間関係形成・社会形成能力」を磨いたり、その活動中に起こるさまざまな出来事に対し、「課題対応能力」と研ぎ澄ませていくのです。さらには、実際の栽培によってその難しさや苦労に触れ、「人との関係」「協力」「農作業そのものの仕事」という要素から、自らの傾向や自戒の思い、つまり「自己理

「キャリア発達にかかわる諸能力（例）」
(4領域8能力)

人間関係形成能力	自他の理解能力 コミュニケーション能力
情報活用能力	情報収集・探索能力 職業理解能力
将来設計能力	役割把握・認識能力 計画実行能力
意思決定能力	選択能力 課題解決能力

「基礎的・汎用的能力」

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

*図中の破線は両者の関係性が相対的に見て弱いことを示している。「計画実行能力」「課題解決能力」という「ラベル」からは「課題対応能力」と密接なつながりが連想されるが、能力の説明等までを視野におさめた場合、「4領域8能力」では、「基礎的・汎用的能力」における「課題対応能力」に相当する能力について、必ずしも前面に出されてはいなかつことが分かる。

解・自己管理能力」を高め、さらにはそのトータルとして自己の生活・将来を設計する「キャリアプランニング能力」を身につけていくのです。

以下に長池小学校の、田辺大根を通じてのキャリア教育イメージを図説します。



さて、その「たてわり班」ですが、本校では、6年生をリーダーとしてたてわり班（ふれあい班）を毎年編成し、様々な取り組みを行っています。週1時間の「ふれあいタイム」とし、全学年で活動を行ってい

ます。また、児童会の取り組みや朝の児童集会にふれあい班での活動が加わり、その取り組みが広がってきています。

このふれあい活動は、以下のことをねらっています。

- 普段ふれあう機会の少ない学年を超えた仲間づくりをすすめます。そして、上級生が下級生の面倒を見ることで、思いやりの心と自尊感情を育むことができると言えています。
- 主体的な班での活動を中心にすすめるので、自主性と責任感が育つ。
- 地域のことを学び、地域に愛着を持つことができる。また、地域の方とのふれあうことを通してつながり、コミュニティ作りにも役立っている。
- 田辺大根を育てることで土や自然にふれあうことができる。



学 期	具 体 的 な 活 動 内 容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○班編成（6学年が均等になるように全校児童を48班に振り分け） ○田辺大根の種取り（6月～7月 種取り用の畑から種を取ります） ○ナッケカーニバル（子どもまつり、ふれあい班で店を出す）
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○田辺大根づくり（9月～12月） <ul style="list-style-type: none"> ・地域田辺大根センターからレクチャーを受けた6年生が、それをもとに班のメンバーに責任を持って教える。 ○ふれあい遠足（ふれあい班でオリエンテーリング）
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○農園の整備と土づくり（来年に向けての土づくり） ○卒業を祝う会、お別れ会（お世話になった6年生に感謝の気持ちを込めて）

特色ある教育②

日本語教室のことが知りたい

帰国・来日した子どもの日本語指導センター校

通級する子どもたち

大阪市内の小学校・中学校には、「帰国・来日した子どもの教育センター校」があります（以下、「日本語教室」と呼びます）。小学校に4校、中学校に4校ありますが、長池小学校は、その8校の内の1校です。

帰国・来日した外国につながりのある子どもたちが日本語の学習をしています。中

センター校の所在地と通級人数

小学校 ← 木川・西九条・長池・瓜破東

中学校 ← 豊崎・市岡・阿倍野・瓜破

(長池小)

24年度

中国 フィリピン モンゴル 韓国 アメリカ

25年度

中国 フィリピン タイ ラオス アメリカ

26年度

中国 フィリピン タイ 韓国

日本語指導、国際理解教育についての説明が書かれています。

授業のようす



国・韓国・フィリピン・タイなど、さまざまな国とつながりのある子どもたちが通級しています。

日本語指導の実際

日本語教室では、日本語に慣れない子どもたちに、いわゆる生活言語の習得をめざして指導しています。ひら

がな、カタカナなどの文字学習、日本語の文型学習、聴解（聞き取って理解する、リスニング）や



スピーチ・作文の練習などを行って



います。また、日本語の学習だけではなく、学校生活や日本の文化や習慣についても学べるように適応指導も行っています。

さらに、左の写真のように、長池小学校の学級・学年と交流をもつ場も設定しています。

特色ある教育③

基礎基本を身につけるって？

基礎・基本の定着をめざした教育



長池小学校では、教科の学習における「基礎基本」「活用する力」のうち、「基礎基本」の定着を図るために、様々な工夫した取り組みを行っています。

その一つに「漢字道場」があります。

漢字道場は小学校で習う漢字を1段から6段、計30級600間に整理した長池小学校オリジナルの教材です。

毎週金曜日、朝8：40から5分間、自分の選んだ問題に挑戦します。10問

正解してはじめて次の級へ進めます。その段の級をすべて合格すると、次の段に進むか、「デ

等級	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	
町内の じさかい	はんせいを する。	しょりやく する。	はいんに 行く。	ここの歌を かうじょくしょく。	おもひょうを 立てる。	どりょくして 合格する。	きまうを 持つ。	どきおり なおす。	まじめを いく。	自治会	治す	時折	希望	努力	目標	合唱	梅林	省略	反省

デラックス

金メダル

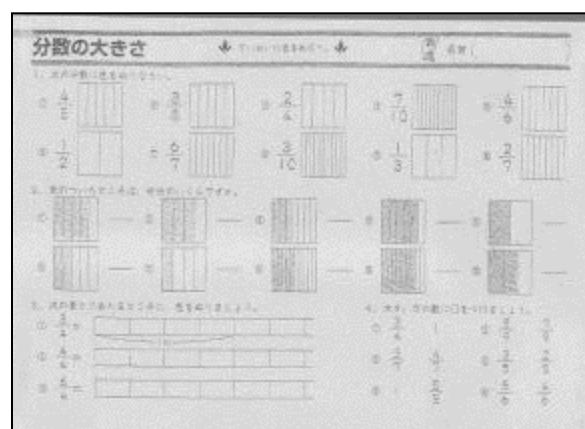
ラックス」または「金メダル」という、四字熟語や特別な漢字など、発展的な内容にも挑戦できます。

このように、漢字道場は習っていない漢字にも挑戦していくという、自学自習のためのツールなのです。



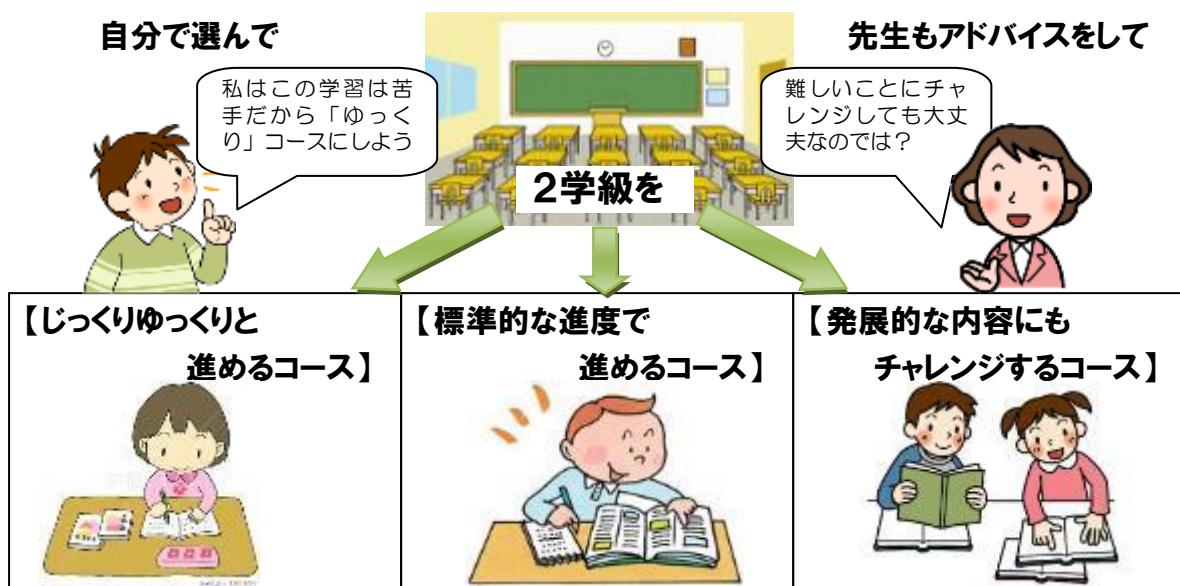
漢字道場と同様、算数の基礎基本の定着をはかる取り組みとしては、「チャレンジタイム」があります。同じく朝の時間を使って、自学

自習として取り組むプリント学習です。その学年の学習内容に応じたプリントをどんどん自分で取り組んでいきます。「計算タイム」として定着してきたこの取り組みは、計算領域に限定せず、「量と測定領域」「図形」「数量関係」と、算数科のすべての領域を網羅した自主学習ツールとして発展させています。



習熟度別学習

普段の授業において、学習の過程が複雑で、子どもたちにとって理解しにくい内容の学習が単元によってあります。そうしたときに、既習の事柄の理解度や子どもたち自身が感じている苦手意識の度合いに応じて2学級を3クラスに分け、よりきめ細やかな授業を開拓しようとしたものが、この「習熟度別学習」、正確には「習熟度別少人数指導」といいます。長池小学校では、国語科及び算数科の2教科において、3年生以上にこの習熟度別学習を取り入れています。年間総時数の約4割程度、この少人数指導を取り入れることをおよその目安として取り組んでいます。

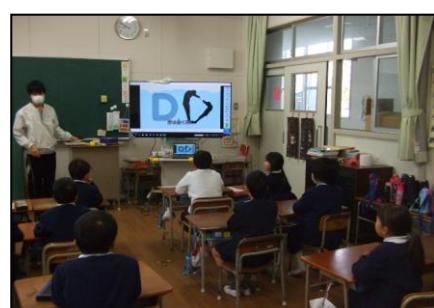


英語ビジュアル学習

本校では、以前から英語の学習を1年生から実践していますが、2020年から5・6年生では教科学習として、3・4年生では外国語活動として全面実施となります。その実施に向けて、少しづつ段階的に推進していく予定です。28度から、木曜日の1時間目が始まる前（特別な活動がある時はありません）に「英語モジュール（短時間）学習」を実施しています。英語の文字と音に親しめるよう、少しづつ進めています。29年度は、あと15分×2コマ増やす予定です。（合計15分×3コマ）

例

木曜日	
8:30~8:40	朝の会など
8:40~8:55	英語モジュール学習
8:55~	1時間目の学習



特色ある教育④

本を読む子になってほしいのですが…

図書教育の充実

読書推進のためのさまざまな取り組みについての説明が書かれています。



朝の時間を活用しての取り組みに読書タイムもあります。子どもたちの読書に対する興味・関心を引き出すべく、長池小学校では、4名の読み聞かせボランティアの方が交代で各学年を回って絵本の読み聞かせをしてくださっています。また、阿倍野図書館とも連携し、各ボランティアグループに来ていただいて「お話し会」を年に1回行っています。



週に6～8時間ある国語科の時間の内、毎週1時間は図書の時間として設定されています。大阪読書推進協会発行の読書ノートを活用し、たくさん本を読む仕掛けづくりを行っています。読書ノートは、100冊達成すると、朝日新聞デジタル上に名前が発表されます。

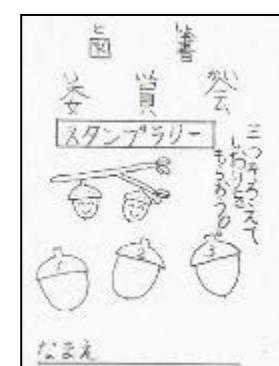


こうした取り組みを軸にしながら、読書の日常化を図るための取り組みと合わせて、長池小学校では大阪市の「学校図書館活性化事業」を活用し様々な学校図書館の充実を図る取り組みを進めています。学校図書館の電算化、図書館ボランティア、図書委員会による子どもの自主的活動がそれです。



とりわけ長池小学校の図書館ボランティアのみなさんは、週に3～4回の屋休みの図書館開放のみならず、書架の補修と整理、おすすめのごとにまとめて効果的な展示をする「本のギャラリー」、図書館内の掲示、ミニ絵本づくりなどの読書関連教室の開催など、ボランティアの方々による自主的自立的活動が他に例を見ないほど充実しています。

また、それに負けじと図書委員会も普段の図書館開放はもちろんのこと「読書スタンプラリー」といった独自の取り組みも行っています。



特色ある教育⑤

子どもの手でよりよい学校を=特別活動

その他の教育活動

特別活動についての説明が書いています。

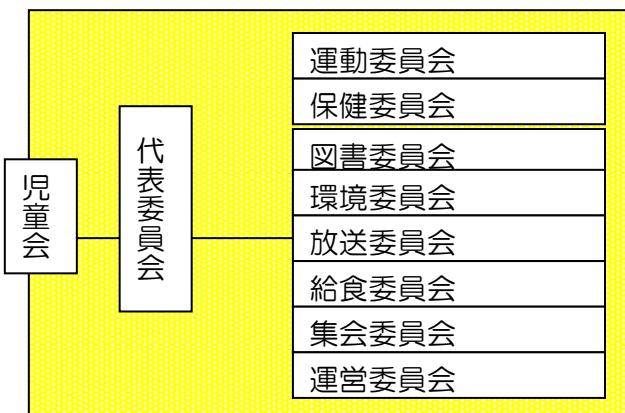
クラブ活動・委員会活動

委員会活動は、毎月1回、第1火曜日の6時間目におこなっています。子どもたちが自分たちで学校をよくしていこうという、自主的な活動です。児童会活動

については、4年生から6年生までの各学級において、学級代表を2名ずつ選出し、さらに4年生から1名、5・6年生から2名ずつの計5名の運営委員を選出し、委員会の委員長とも合わせて、毎月1回、委員会とは別に代表委員会を開いています。そこでさまざまな児童会としての行事を計画し、「ナックカーニバル」などの、子どもたち同士がふれあい、つながるための、子どもたちの手によるさまざまな行事を行っています。

クラブ活動は、全部で8つ。4年生以上の子どもたちが、それぞれ自分が深めたいというクラブに所属し、第3・4火曜日の行事のない日の14：45～15：30に活動しています。

児童会活動・委員会活動



クラブ活動

ボールクラブ
陸上クラブ
卓球クラブ
一輪車クラブ
パソコンクラブ
科学クラブ
国際交流クラブ
音楽クラブ

児童会活動



上記で述べたように、児童会活動は代表委員を中心に子どもたちが学校生活をよりよく楽しむための子どもたち自身の自主的自発的活動です。いわゆる子どもまつりである「ナックカーニバル」をはじめ、「ナック田辺大根祭り」や「卒業をお祝いする会」など、様々な行事を行っています。自分たちの手で進める児童会活動は、子どもたちの成長に欠かせない、大切な教育活動です。



特色ある教育⑥

その子らしさを大切に

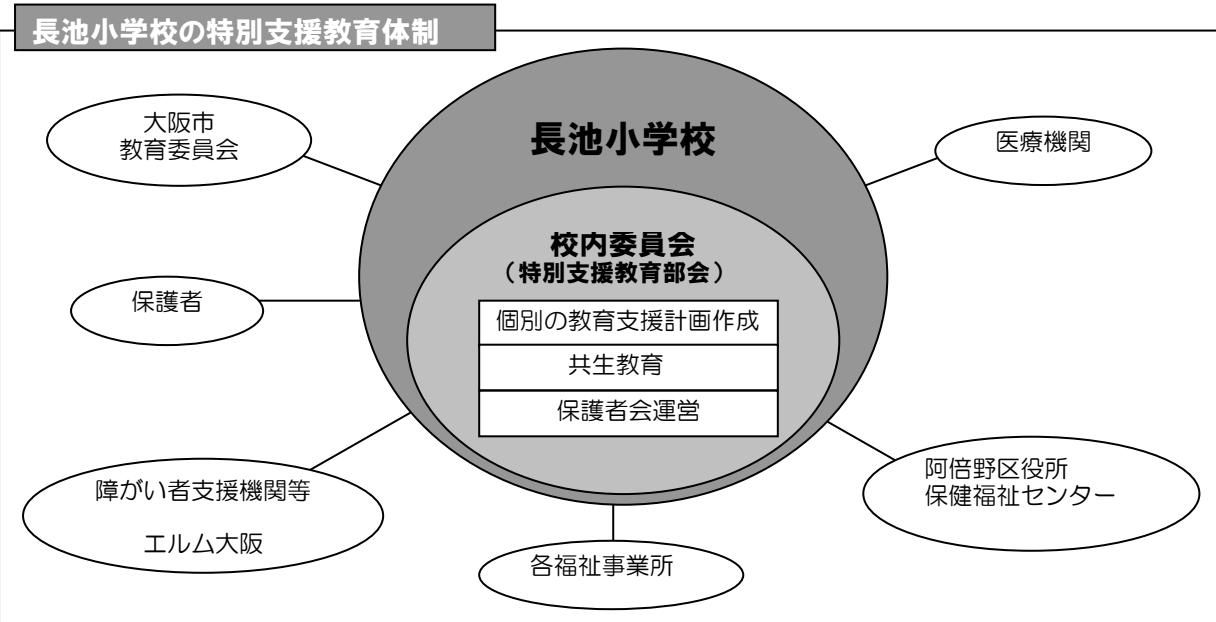
特別支援教育

長池小学校として進めている特徴的な教育内容の説明が書いています。

平成19年に、特別支援教育がスタートしました。これは、さまざまな障がいのある子どもたちがいる中で、その障がいの状況や個々のニーズが非常に多様化してきたことにより、個別のニーズに応じた支援ができるようにと、国（文部科学省）が方針を出し、始まったものです。

長池小学校では、障がいのある子どもの発達保障と、通常学級での学習と個別への支援とのバランスを取りながら、周りの子どもたちの障がい者理解と集団育成、共に生きていくこうとする態度の育成など、これまでも継続して取り組んできました。本来「長池小学校の特色ある教育」ということではなく、どこでもあたりまえに行われるべき教育なわけです。

本校では、下図のように関係機関との連携をしながら特別支援教育の体制づくりに努め、子どもたち一人ひとりにとって必要な支援を検討し、日々実践しています。



コラム

こんな様子、ありませんか？

本読みで、文字や行をよくとばして読んでいる。

小さな音もすごく気になり、大切なことを聞き逃す。

たくさんの方たちの中ではなかなか話が聞けない。

衣服のタグを全部切ったり、襟まわりを気にする。

じっとしていることが少なく、あちこちに動き回る。
非常にこだわりが強く、特定のことだけ集中する。

会話にそって話をせず、まったく関係のない話題にとぶことが多い。

子どもは一人ひとり、まったくちがいます。同じということはないと言つていいでしょう。だからこそステキであるし、そこがいいところだと言えます。

上のようなことがお子さまによく見られることはないでしょうか？たくさん見受けられた場合、お子さまは、発達障がいの部分をもっているかもしれません。その特徴の見出しあは、早ければ早いほどよいと言われています。それは、お子さまのもつ特徴であり、個性であると言えます。その特徴や個性に合わせて子育てや教育を行っていくことが、お子さまの大きな成長へつながるのです。